

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 7年 3月 3日

公表:令和 7年 3月 28日

事業所名 稲沢市立ひまわり園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0		
	2	職員の配置数は適切である	6	1	・日によってバラつきがあり、少ないと感じる。 ・子どもの人数に対しての職員数、数字だけで見れば適切なのかもしれないが、個の状況から見ると必ずしも適切だとは言いきれない。	・今後、療育内容の見直しを行い、利用者個人への関わる時間がとりやすいように検討させていただきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	・話し合いながら改善していこうとしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	・広いことが良い時、狭いことが良い時を使い分けたい。 ・医療的ケア、未歩行クラスの部屋の利用者さんが多い日には、うまく親子の部屋の空き時間を活用できるといい。	・お子さんの様子(クールダウンなど)に対応するための場所づくり、療育中に走り回らないようにする(危険を回避する)ため等により、準備対応が違う場合があります。 ・医療的ケア・未歩行のお子さんが広い空間で身体を動かしたり、遊んでいただいたりできるよう、他の部屋が空いている時に活用させて頂いております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	・カンファレンスの時間を増やしたい。	・可能な限り毎日、30分でもその日のカンファレンスを行うようにしています。また、専門の先生が来てくださっている日は多職種カンファレンスを行うようにしています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		・事業所内では年2回、ホームページにおいては、年1回自己評価表を掲載しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	・分からない。 ・義務ではない事、理解している。	・今後、検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	・時間の確保が難しいが、努力してやろうとしている。	・今後もカンファレンスは出来る限り時間を作って行うよう努めさせていただきます。 ・親子通園交流会にて、一宮市と稲沢市の事業所が合同で研修を行ってはどうかという案も出ているので、関係機関と検討してまいります。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0		

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	1	・個別と集団の組み合わせをしているかは分からない。	・お子さんの状況に応じて集団活動より個人活動のみ計画書に入れていることもあります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	3	・役割分担までは出来ていない気がする。	・朝の打ち合わせの際には、必ずではないが、大まかな役割分担や時間配分はしています。その日に利用される方の中で特に支援を要するであろうお子さんについては、より細かな打ち合わせを行っております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	・必ず全員出られない。 ・単独はなかなか行えないが、話せる機会があると良い。 ・振り返りについては、以前は職員の状況に合わせて時間を決めていたが、現在は時間を決めて参加できる人から参加することにした。必ずと言われると、出来ない日もあります。	・当日のカンファレンスについては、勤務状況により、参加できない職員もいるので、内容を記録し、必ず把握してもらうようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	・園長か児童発達支援管理責任者が参加することが多い。	・今後は直接、支援している職員も参加できるように検討してまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	0	・今年は対象者がいないが必要があれば行っている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	3	・国分保育園に月3回だが遊びに行くようにしている。 ・保育園園庭遊びに交流している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3		・こども部会には施設長が参加しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	0		
保	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		

護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	2	・親子分離を行っている。 ・父母会はないが、卒園した子が夏まつりに来てもらい交流を持つ場がある。	・現在、平日の利用については空き部屋がないため、親子分離は出来ていないが、できるだけ交流をして頂けるよう今後、検討させていただきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	・会報はない。	・園のリーフレットや利用希望表、掲示物等で発信しております。 ・新しく利用される方には電話連絡等で丁寧に対応させていただいております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	・防犯マニュアルはない。	・防犯対策については、職員間で周知し、徹底していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	・送迎時において、非常災害の発生時に周囲の状況等の確認を行い無理な運行をしない。道路状況をひまわり園に連絡を入れる。 ・同僚と危険箇所を共有している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	・現在対象者がいない。 ・アレルギーに対するマニュアルがあるのか分からない。	・単独利用の方には、アレルギーチェック表をつけてもらい対応させていただいております。今のところアレルギー対策を行っている利用者の方はいませんが、今後は看護師とも連携してマニュアルも検討してまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・身体拘束については契約時に説明しているが、個別支援計画書に記載はしていない利用者さんもある。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。